

令和7年度 上久下小学校「学校経営方針」

日本国憲法
教育基本法
学習指導要領
兵庫県指導の重点
丹波市の教育

『自ら学び 心つなげる 上久下っ子の育成』
～ 挑戦・プラス思考・自分らしさ・感謝 ～

保護者の願い
地域の願い
児童の実態
学校評価の反映
学校運営協議会
教職員の意志

心も体も元気な子 進んで思いを伝える子 ふるさとを大切にする子
すこやかに たくましく

学校経営の基本理念を「大好き自分 大好きともだち 大好き家族 大好き上久下」とし、丹波市の掲げる「人を愛し ふるさとを想い しあわせのカタチを創造できる 人づくり」の具現化をめざし、ウェルビーイングな学校づくりをすすめる。

1 めざす姿

(1) めざす児童像

- 心も体も明るく元気で、進んで行動する子
- 意欲的に自ら学び、進んで思いを伝える子
- ふるさとを愛し、人とのつながりを大切にする子

(2) めざす学校像

- 人権尊重を根底に、誰もが幸せを感じ、安全・安心で、活力と潤いのある楽しい学校
- 主体的・対話的で深い学びにより、自走できる力を培う学習指導を実践する学校
- 小規模を活かす教育活動が充実した学校
- 学校・保護者・地域が一体となり、ふるさとを愛する子どもを育む、地域と共に育てる学校
- すべての教職員にとって働きがいのある学校

(3) めざす職員像

- 児童を一人の人間として尊重し、寄り添える職員
- 保護者の願いを受け止め、パートナーとして、ともに粘り強く取り組む職員
- チーム上久下の一員として、協働的に取り組む職員
- 教職員としての誇りを持ち、自らの資質と能力を高めようとする職員

2 具体的な取組（指導の重点）

(1) 互いを認め合い、自分も相手も大切にできる子

- ①人権尊重を根底に据え、個性を尊重し、互いに認め合える集団をめざす
 - ・誰にも居場所のある学級経営
 - ・わくわくして登校したい学校づくり
 - ・伝わるあいさつ
- ②多様性を認めともに生きる特別支援教育の充実をめざす
 - ・児童の思いや保護者の願いを聞き取る
 - ・一人ひとりの可能性を最大限に引き出す授業づくり
- ③児童の主体的な活動の推進といじめをゆるさない学校・学級をめざす
 - ・たてわり班活動
 - ・児童会活動の活性化
 - ・全職員による児童理解のための情報交流
- ④児童や保護者に寄り添い、粘り強く継続的な不登校対応の徹底をめざす
 - ・組織として対応
 - ・家庭や専門機関との連携
 - ・教育相談体制の充実

(2) 心身ともに健やかな子

- ①健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる
 - ・小規模を活かした体験活動
 - ・保健指導の充実
 - ・正しい姿勢
- ②自らの命を守るための能力を身につけさせ、生涯を通じて健康で安全な生活を送る基礎を培う

・交通安全指導 ・避難訓練の実施 ・引渡訓練

(3) 学ぶ楽しさを感じ、自ら学ぶ力を伸ばそうとする子

- ①「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業を実践し、基礎・基本の定着を図る
・スキルタイム ・漢字、算数検定 ・授業工夫改善の研究
- ②一人一台タブレットを活用し、個別最適化された学習をすすめる
・情報モラル教育 ・自走する学び ・情報教育リテラシー
- ③小規模校ならではの学習方法、内容の充実をめざす
・上久下スタイル ・全校スキル ・子どもが自立的に学びを進める学習の展開

(4) ふるさとを大切にし、人とのつながりを大切にする子

- ①地域にある教育資源をとりいれたふるさと学の充実を図る
・「丹波竜」「檜皮葺」「水力発電」 ・ゲストティーチャーの積極的な活用
・学校支援コーディネーターとの連携強化
- ②地域に生きる人々の姿に学び、地域課題の解決に向かう学習
・環境学習 ・自然体験 ・高齢者とのふれあい交流 ・福祉体験

(5) 活力あふれる職場づくり

- ①職員間のコミュニケーションを大切にし、認め合い高め合う職員集団をめざす
・福利厚生の充実 ・OJT の推進 ・風通しの良い職場づくり
- ②管理職、ミドルリーダー、各種委員会の長を核に、全員体制で取り組む
・危機管理 ・いじめ未然防止 ・不登校 ・チーム上久下
- ③業務改善と働き方改革による、ワークライフバランスの充実を図る
・業務の見直し ・SSS の効果的な活用 ・定時退勤励行

3 地域と共に育てる

(1) 教育活動を積極的に発信・可視化し、当事者意識を共有する

- ①オープンスクール、参観日、学校行事等への積極的な参加の呼びかけ
- ②子どもの声、各種たより、通信、ホームページ、防災無線等による情報発信の工夫
- ③誰でも参画参加でき、相互に認め合える場の設定

(2) 思いやり、おもてなしの気持ちで対応する

- ①来校者、保護者、地域の方へ、自分から元気な明るいあいさつ
- ②丁寧な接遇、電話対応

(3) 校区の自然、伝統、文化、歴史遺産、人材等の教材化をすすめる

- ①上久下三宝（丹波竜、檜皮葺、人と自然）を活用、PRする
- ②地域のゲストティーチャーを積極的に発掘、活用する
- ③地域の高齢者とのつながり、ふれあいを大切にした交流

(4) 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）のさらなる活性化に努める

- ①学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の取組を積極的に発信し、参加を促進する
- ②保護者や地域と、時間や思いを共有できる熟議の開催
- ③PTA活動や地域、自治会等の行事に三世代四世代で関わり、つながりを築き広げる
- ④地域と共に子どもを育てる「地域共育」を推進する

(5) 適正規模適正配置への対応

- ①複式学級に対応し、教育内容の工夫改善充実を図る
- ②学校・家庭・地域間で、学校の在り方の将来展望について共有を図る